

謹賀新年



貨物会社、関連会社で働く組合員と家族の皆さん、新年あけましておめでとうございます。劣悪な職場環境の下、労働条件改善、組織拡大にむけ日々奮闘されていることに対し貨物協議会を代表し感謝申し上げます。

長年にわたり低賃金と経済停滞が続き、家計が疲弊し切っているもとに襲い掛かった物価高騰は、国民の暮らしに深刻な打撃を与え、社会保障改悪も繰り返される下で、実質賃金は減少し、労働者の生活は厳しさが増すものとなっています。

ウクライナ戦争が長期化する中、あらたに中東においてもパレスチナハマスに対するイスラエルの越境攻撃が開始され、双方の報復による無差別空爆により、多数の民間人が犠牲になるなど、殺りくの恐怖は止まることを知りません。武力の行使は必ず次の武力につながることは、この間の歴史が証明していることから、今求められていることは、相互が直ちに停戦に向け合意すること以外なく、世界が一致して、和平に向けた合意形成を図る努力を続けることが重要となっています。

貨物会社の2023年度事業計画は、当初連結36億円・単体20億円を目指していましたが、11月9日に発表された貨物会社の中間決算では、資源価格の高騰や、急激な円安による原油高など経費を押し上げ、経常利益は単体△21億円、連結△10億円となり、通期見通しでは連結で赤字の相殺を目指すものとなるなど大幅な下方修正となっています。コロナの終息と、物流経済の回復を想定した、当初の事業計画数値との乖離をみれば、計画そのものが問われるものとなっています。

一方で政府は2024年4月以降、人手不足による影響が懸念されるもとで、緊急対策のひとつに、鉄道貨物輸送量を今後10年で2倍に増やす目標を掲げており、環境問題を中心とした鉄道貨物への追い風に期待し、今年度は300億円を超える設備投資を計画するなど、将来を見据え着実に経営基盤強化を目指してきています。

一方社員に対しては、年末手当においても歴史的な物価高騰にあえぐ日々の厳しい生活を顧みることなく、低額回答を強行しています。将来に希望が持たず、退職を選択する若い社員が後を絶たない今日、労働条件の改善は待たない課題であり、これ以上社員と家族の生活を犠牲にすることは許すことはできません。定年まで安心して働き続けられる労働条件改善に向け引き続き奮闘が求められています。

貨物会社にとって大きな問題である、北海道新幹線開業に伴う並行在来線存続問題では、改正交通再生法施行に伴い物流ルートの確保について、4者協議の中で存続の方針は示されたものの、費用負担は未だ確定しておらず、政府による検討会議も立ち上がる中で予断を許さない状況となっています。自然災害による被害は年々拡大傾向にあるなかで鉄道貨物輸送の全国ネットワークの維持はもとより、健全経営の確立に向けた政府への継続した要請の取組みは重要さを増しています。

岸田内閣が発足して2年が経過するもとで、自公政権への国民の怒りと不信が渦巻き、内閣支持率の低迷となって表れています。一時凌ぎ・場当りのな対策を繰り返すだけの経済無策をはじめ、憲法を踏みこむ大軍拡の強行、福島原発事故の反省を投げ捨てた原発新増設と再稼働推進、沖縄県民の民意も地方自治も蹂躪する辺野古新基地建設の強行、健康保険証の廃止とマイナンバーカード、インボイス制度の強行等、あらゆる分野で、説明抜き暴走政治が行われています。政治とカネの問題では、安倍派中枢幹部の裏金疑惑が次々と発覚し、自民党全体に疑惑が広がる底なしの状況となるなど、岸田政権の行き詰まりはより一層深刻さを増してきています。

今こそ広範な労働者と連帯し、恒久平和を勝ち取るためにも、国民運動を大きく発展させ、2024春闘では、大幅賃上げの獲得、労働法制改悪反対、社会保障制度の充実、弱者切り捨てや憲法9条を否定する悪政を許さず、平和と民主主義を守る闘いに全力をあげなければなりません。

国労要求の実現に向け引き続き全国の職場から運動を強化し、全国貨物協議会がその先頭に立って奮闘することを表明し、新春の挨拶と致します。

つくろう職場に労働運動を！
ひろげよう闘いを！
職場に、地域に、全国に！

本年もよろしくお願いいたします。

各エリア役員体制

北海道貨物協議会

議長 高岸栄太郎
副議長 佐々木敏則
事務長 千葉 克己

関東貨物協議会

議長 森岡 英夫
副議長 長谷川正志
副議長 寺尾 浩昭
副議長 斎藤 郁夫
副議長 和田 政範
副議長 松吉 祐典
事務長 中村 誠

関西貨物協議会

議長 工藤 隆志
副議長 熊野 孝人
副議長 大森 忠
副議長 國松 重浩
副議長 長尾 保宏
副議長 萩田 啓二
事務長 惠阪 景一

東北貨物協議会

議長 石戸谷 満毅
副議長 高橋 一志
副議長 天野 一志
事務長 木元 敏彰

東海貨物協議会

議長 大金 健治
副議長 多賀 明
副議長 工藤 拓真
事務長 加藤 広明

九州貨物協議会

議長 下川 一男
副議長 幸村 重克
副議長 西尾 豊
事務長 榊 正明

全国貨物協議会

議長 長 因 泥
副議長 長 眞 田
副議長 長 鈴 木
副議長 長 工 藤
副事務長 橋 本
事務長 森 岡
一幸夫 志翼 英夫
敏郁隆 英夫



組織拡大を実現させよう!!